

「消火救難訓練」の実施

- 航空機事故により、火災や負傷者等が発生した場合に備え、調布消防署を中心に、毎年「消火救難訓練」を実施しています。
- 消火・止血・搬送等の訓練を定期的に行うことで、緊急時に迅速かつ適切に対応できる体制を整えています。
- 緊急事態発生時にも円滑に意思疎通を図ることができるよう、日頃から消防署と意見交換を行い、万が一に備え連携を図っています。



【一斉放水の様子】

【令和6年度の訓練概要】

【参加機関】 10機関/84名

調布消防署及び消防団、調布空港協議会、警備会社、東京都職員等

【参加車両】 15台（調布飛行場消防車・調布消防署消防車等）

【想定】 到着機が着陸に失敗し、機体停止後白煙が発生 機体内部の負傷者を救出後、機体から出火

【内容】 関係機関への通報訓練 → 緊急連絡体制を確認 担架搬送や止血法の訓練 → 搬送手順や応急処置法を確認 消防車両による一斉放水 → 消火体制を確認



【担架搬送】



【止血訓練】